

令和2年1月 「歴史文化保存展示施設」説明会

浜田市の「歴史文化保存展示施設」 の整備方針(案)について

浜田市長 久保田章市

1.これまでの経緯

- 平成 12 年（仮称）浜田総合博物館 構想
- 平成 14 年（仮称）浜田総合博物館 基本計画
- 平成 21 年 中央図書館整備との併設検討 ⇒ 見送り

- 平成 27 年 11 月～平成 29 年 3 月 浜田城周辺整備検討会
⇒ 「資料館整備を進めたい」、
「財政負担をできる限り抑制すべき」
- 平成 29 年 3 月議会 整備事業予算案を提出 ⇒ 取下げ
- 平成 31 年 4 月～令和元年 9 月（仮称）浜田歴史資料館検討会
⇒ 「整備には大半が賛同」、
「建設費、運営費はできるだけ圧縮すべき」

2.整備方針を検討するにあたって

□当市には、「歴史民俗資料館」等の施設が6施設ある。

□多くは老朽化が進み、特に「浜田郷土資料館」は、

築60年以上経過し、老朽化が著しく、展示スペースが狭い。



「歴史文化保存展示施設」と呼ぶことについて

- これまで、検討する対象施設の名称を、
「(仮称)浜田歴史資料館」と呼んできた
- しかし、当市には、
「郷土資料館」、「歴史民俗資料館」など、様々な呼び名の
類似施設が6ヶ所ある
- これら施設は、「歴史文化資料を保存・展示する施設」であり、
今後、**共通名称として、「歴史文化保存展示施設」と呼ぶ**
(なお、個々の施設名は、従来の名称のまま)

3. 「歴史文化保存展示施設」の整備方針(案)骨子

① 浜田郷土資料館

- 中核施設として、建替え整備し、「ふるさと郷育」等に活用。
- 整備費、運営費を安価にするため、「世界こども美術館」に増設。
- 整備費約7億5千万円は、過疎債を活用することにより、全額を「国の補助」と「ふるさと寄附」で賄い、市の「一般財源」は、使わない。

② 他の5施設

- 当該地域で見てもらおうよう、支所等のスペースを活用し、展示。既存資料館は、資料保管として利用し、調査・研究等に対応。
- なお、金城の2施設は、現行のまま活用する。

それぞれの施設の整備方針(案)

施設名	延床面積	築年数	今後の方向性
① 浜田郷土資料館	480 m ²	60 年	建替え整備
② 金城民俗資料館	269 m ²	47 年	現行のまま [一部は岡本甚左衛門関係の資料とともに、支所の空きスペースを活用して展示]
③ 金城歴史民俗資料館	175 m ²		
④ 旭歴史民俗資料館	388 m ²	39 年	・支所等の空きスペースを活用して展示 ・既存施設は資料保管として利用し、調査・研究等に対応
⑤ 弥栄郷土資料展示室	174 m ²	15 年	
⑥ 三隅歴史民俗資料館	406 m ²	41 年	

説明1 「歴史文化保存展示施設」の目的と意義

□古くからの歴史を有し、市民憲章で「文化のかおるまち」を掲げている当市にとっては、3つの役割を担う必要不可欠な施設。

□3つの役割

- ① 歴史・文化の保存・継承の拠点
- ② ふるさと郷育の拠点
- ③ 市民や観光客の交流拠点

□特に、②ふるさと郷育は、「ふるさと浜田」に誇りと愛着を持ってもらう重要な教育。

人口減少が進む当市にあって、一旦、市外に出た若者が、将来Uターンしてもらうためにも必要な施策。

説明2「浜田郷土資料館」を建替え整備する理由

- ① 築 60 年以上が経過し、老朽化が著しい。
- ② 展示スペースが狭く、保有資料の多くが展示できていない。
 - ・ 保有資料 約 12,000 点
 - ・ 寄贈資料 年間 100~200 点
 - ・ 展示可能 年間約 500 点
(常設展示 100 点、企画展示 400 点 (100 点×4))



説明3「世界こども美術館に増設」とする理由

□3つの案を検討

- 案1（検討会A案） 御便殿（浜田城資料館）隣接地に新設
- 案2（検討会B案） 中央図書館隣接地に整備
- 案3（検討会C案） 世界こども美術館に増設

□次の理由で「案3」としたい

- ① 整備費、運営費が他の案と比較して最も安価
- ② 隣接地に建設予定の「子育て包括支援センター」との連携活用
- ③ 駐車場が確保でき、津波の心配がない

単位：百万円

	案1	案2	案3
整備費(※)	1,146	1,389	753
うち 建物	844	1,087	451
運営費 (追加分、年間)	54	55	11

※ 整備費のうち、展示関係は、3案とも302百万円と試算。

説明4 「整備費」と「運営費」について

- 整備費は約7億5,000万円、
運営費（追加分）は年間約1,100万円を見込む。
- 整備については、過疎債を活用し、
整備費全体の約6割は「国の補助」、残り4割は「ふるさと寄附」
を財源に充て、市の「一般財源」は、使わない。

単位：百万円

	費用	過疎債 対象費用
整備費	753	633
建物	451	451
展示	302	182
運営費 (追加分)	11	0



単位：百万円

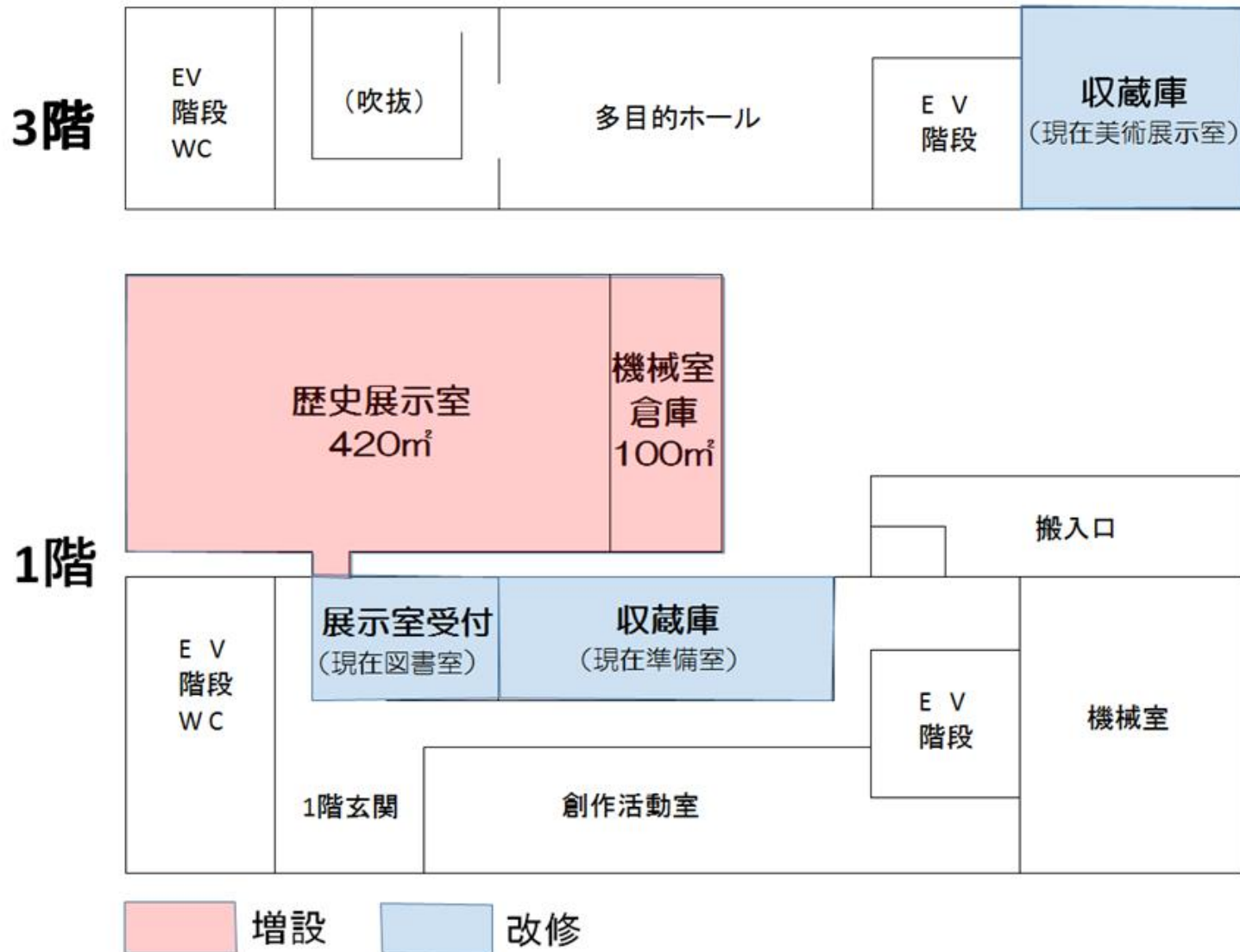
国の補助 (交付税措置)	ふるさと 寄附	一般財源
443	310	0
315	136	0
128	174	0
0	0	11

説明5 「世界こども美術館」はどうか

- 1 階海側の空き地に「歴史文化保存展示施設」を増設。
3 階多目的ホールの後ろに収蔵庫を設置。
- 世界こども美術館の機能は、「現状どおり維持」。



増設・改修部分の平面図



説明6 「展示」のイメージ

歴史	民俗	偉人
 <p data-bbox="189 749 564 799">中世の土器や石器</p>	 <p data-bbox="776 749 1155 799">明治・大正の民具</p>	 <p data-bbox="1375 749 1754 799">柿本人麻呂の紹介</p>
 <p data-bbox="208 1242 544 1292">浜田城下町絵図</p>	 <p data-bbox="840 1242 1081 1292">昭和の民具</p>	 <p data-bbox="1400 1242 1729 1292">島村抱月の紹介</p>

説明7 想定している「利用方法」(「ふるさと郷育」の場合)

学校教育	小学校	社会科	<ul style="list-style-type: none"> ・昔の道具調べや生活の移り変わりを学習する。 ・浜田と日本の歴史を関連付けて学習する。 	
		理科	<ul style="list-style-type: none"> ・大地のつくりを石見畳ヶ浦の化石から学習する。 ・日本唯一の岩石である黄長石霞石玄武岩を学習する。 	
		総合的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・学校周辺の歴史や偉人、石見神楽等の身近な歴史文化を学習する。 	
	中学校	社会科	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田と日本の歴史を小学校より掘り下げて学習する。 	
		理科	<ul style="list-style-type: none"> ・浜田地震等により災害や大地変動を学習する。 	
		総合的な学習	<ul style="list-style-type: none"> ・市全体の視点から歴史や伝統文化等について、生徒が考えながら取り組む学習を行う。 	
	※ 小・中学校と資料館の移動はスクールバスを使用			
	高校	<ul style="list-style-type: none"> ・文化関係の部活動に活用する。 ・授業へ資料を提供し、生徒の関心を高める。 		
	大学等	<ul style="list-style-type: none"> ・ゼミやレポート作成に活用する。 ・県外出身の学生に浜田の歴史文化への関心を高める。 		

説明8 今後のスケジュール

期間	内容
令和2年3月	市議会3月定例会議に、 「専門家による検討委員会」関連予算を計上
令和2～3年度	「専門家による検討委員会」において検討
令和4年度	設計業務委託
令和5～6年度	建設工事、展示準備 等
令和7年度	開館

ご清聴、
ありがとうございました